

労福協 NEWS

2017.4 No.83

国際交流視察団 ミャンマー訪問！

2017年2月21日～26日、公益社団法人徳島県労働者福祉協議会ほか労働者福祉団体で構成した訪問団がミャンマーを訪問しました。

ミャンマーは、徳島県において以前より多くの方が交流に係わり、眉山山頂には「パゴダ平和記念塔」（ミャンマー様式の仏塔）がそびえています。また、2016年3月に国民民主連盟（National League for Democracy, NLD）新政権が発足したことから、労働者福祉活動が少しでも新政府の国づくりのお役に立つことができれば、是非とも協力をしたいと考え、ミャンマーを訪問しました。

NLD本部の会議室で、日本ミャンマー協会会長の渡邊秀央参議院議員、同副会長の仙谷由人内閣官房長官、ミャンマー与党の国民民主連盟から、Hantha Myint氏（経済委員会委員長／党のスポークスマン）、Lay Nyunt氏（党のメンバー）が通訳を挟んで会談しました。その中で、仙谷副会長の地元徳島から「国際交流視察団」として、労働組合、労働者福祉事業団体が、ミャンマーの国づくりに何らかの協力がしたいとの目的で訪れたと紹介。久積育郎団長から、労働者福祉事業団体合同で、ミャンマーから3ヵ月程度の短期研修生を受け入れるなど、協力を惜しまないと投げかけました。

最後に、久積団長が徳島から持参した藍染めのハンカチと扇子を贈呈し、Hantha Myint氏と固く握手を交わしました。

【ミャンマー視察地】



▲ シュエダゴンパゴダ

▶ マンダレーヒル



◀ 旧王宮



▲ シェモードパゴダ



▲ チャイブーンパゴダ

「労福協NEWS」は、連合、労金、全労済、勤労者福祉ネットワーク、労館、労福協の6団体による「共同デスク編集委員会」を持ち発行しています。

労 福 協**障がい者のための
自動車運転免許取得特別講座**

徳島県労働者福祉協議会では、障がいのある方が自動車の運転免許を取得し、仕事や生活に役立てることを目的に、「障がい者のための自動車運転免許取得特別講座」を毎年開講しています。

講師を務めてくださるのは現役の自動車教習所の教官や元教官で、教習所で実際に使われる教本や仮免試験問題集を使って、学科の基本を勉強し、講師から教習所に入校可能と判断された方から、自動車教習所に入校してもらっています。

本講座は2002年に開講され、現在までに120名が運転免許（自動車94名、自動二輪1名、原付25名）を取得しました。当初は県内2か所での開講でしたが、現在は徳島市、板野郡松茂町、吉野川市、阿南市の4か所で開講しており、受講人数も年々増えてきています。

また、本講座が全国的にも珍しい取り組みであることから、2011年にはNHKのインターネットプログラム「ちいきのきずな」、2013年にはBS-TBSの「きづなの交通安全ナビ」というテレビ番組にも取り上げられました。

その後これらのメディアを視聴した人や、当協議会のホームページを見た人から、「詳しく知りたい」「受講したい」という問い合わせが全国各地からあり、2015年度には東京から徳島に移り住み、本講座を受講したのち自動車運転免許を取得された方もいました。

当協議会では、全国でも珍しいこのオンリーワンの取り組みを、今後も継続し、障がい者の方が地域社会で活躍できる環境を醸成できるよう、関係機関と連携し取り組んでいきたいと考えています。

**外国人のための
自動車運転免許取得支援講座**

徳島県では、公共交通機関の運行本数が少なく、日常生活や仕事に自動車が必要不可欠です。しかし、運転免許取得を希望する外国人にとって、独学で学科教本の内容を理解し試験に合格することは難しい現状があります。

徳島県運転免許センターによると、2015年度は156人が最終試験に合格したものの、半数以上が英語による受験者であり、また、自国の運転免許を日本の免許に切り替える、いわゆる外免切替による取得者は71名であったとのことです。こうした現状のなか、日本の交通ルールをじゅうぶん理解しないまま運転し、事故につながるケースも発生しているそうです。

そこで協議会では、徳島県福祉基金において2016年度に新設された「外国人が住みやすい地域づくりや社会参加を図る活動」に応募し、日本語講師の指導のもと自動車教習所の学科教本が理解できるレベルの読解力の習得を目指す「日本語講座」と、自動車教習所教官の指導のもと仮免許および最終試験の模擬問題を解く練習を主体とした「学科対策講座」を初めて開講しました。

講座には、中国、フィリピン、インドネシア、バングラデシュの15名が受講、うち10名が修了し、順次自動車教習所に入校しています。

外国人が日本のルールを理解したうえで免許を取得することは、自身の子育てや地域活動などの日常生活や求職活動にも有効であるとともに、職業生活においても利便性を向上させます。また、交通ルールを理解しないことに起因する交通事故を軽減し、より安全・安心な地域社会の実現にも寄与するという意義もあります。

協議会ではニーズや意義の高さから、今後も講座の継続を模索していきたいと考えています。



連 合

2017syuntoふれあいファミリーデー



県民と働く者のフェスタ実行委員会、連合徳島、徳島県春闘共闘会議は3月12日（日）板野町のあすたむらんど徳島芝生広場で、2017syuntoふれあいファミリーデーを開き、快晴のもと、仮面ライダーエグゼイドショー効果もあり、連合徳島各構成組織の組合員や家族、県民、約1,900人が参加した。会場では、連合徳島田北副事務局長の司会進行で始まり、冒頭、森本会長から「連合徳島は、3万2千人の組合員で構成されている。2017春季生活闘争の2大テーマは、『底上げ・底支え』でクラシノソコアゲを実現しよう！長時間労働撲滅でハッピーライフの実現を！」のス

ローガンで闘って行く。また、月例賃金の引き上げにこだわり『経済の自律的成長』『社会の維持性』を実現する。また、連合は、給付型奨学金の創設に取り組んでいる。政府は、私たちが含めた労働福祉団体の要請を受け、国の制度としては初めてとなる給付金型奨学金制度の創設を決定した。今後、さらなる制度の充実を求めて運動を継続していく。本日は、日頃の多忙な日々を忘れていただき、家族の和を大切にさせていただくとともに、家族サービスに努めていただきたい。」とあいさつ。続いて島事務局長から「子どもたちにわかりやすいワークルール」をクイズ形式で説明した。続いて、東日本大震災・熊本地震復興支援大抽選会（物産品が賞品）を午前・午後と行った。その後、仮面ライダーエグゼイドショーに移り子ども達の歓声が響き渡った。なお、参加者にSTOP！長時間労働のアンケートの協力も呼びかけ、労働・生活相談ブースも設けるとともに、女性委員会・青年委員会は綿菓子やドリンクも販売し、多くの参加者で賑わった。



ろうきん

四国ろうきんの社会貢献活動 基本方針

四国ろうきんは、経済・福祉・環境・文化などの社会的課題への
取り組みを行うと共に、NPO、市民活動団体をはじめ
地域福祉の事業に対する支援活動を進めています。

「人々が喜びをもって共生できる社会の実現に寄与する」と定めた
「ろうきんの理念」の具体化を図ることを目的とした活動を続けます。

ろうきんの基本理念

- ろうきんは、働く人の夢と共感を創造する協同組織の福祉金融機関です。
- ろうきんは、会員が行う経済・福祉・環境および文化にかかわる活動を促進し、人々が喜びをもって共生できる社会の実現に寄与することを目的とします。
- ろうきんは、働く人の団体、広く市民の参加による団体を会員とし、そのネットワークによって成り立っています。
- 会員は、平等の立場でろうきんの運営に参画し、運動と事業の発展に努めます。
- ろうきんは、誠実・公平および公開を旨とし、健全経営に徹して会員の信頼に応えます。

■助成金制度

社会福祉、高齢者問題、文化や国際交流などの
「福祉活動」を対象とし、非営利で、公共性の高い
活動をしている団体に対し、応募申請をもとに審査・選定し、
助成金を贈呈する制度です。

過去 15 年間に
**426 件 7,205 万円の
事業資金の助成を
行っています**

■ピンクリボン運動支援

「女性が健康で長く働くことができる社会づくり」に貢献するために、乳がん早期発見・早期診断・早期治療の大切さを伝える「ピンクリボン運動」への支援に取り組んでいます。

具体的には、四国ろうきん ATM において、ろうきんカード（マイプラン含む）および他行カードでの支払 1 回につき 1 円を四国ろうきんが負担し、「ピンクリボン運動」を実施している四国地区の公益財団法人日本対がん協会のグループ組織に寄附するものです。 2016 年度 ¥178,669

経営統括部 TEL.087-811-8004

E- メールアドレス：manage@shikoku-rokin.or.jp

または最寄りの営業店にお問い合わせください。



ホームページアドレス

<http://www.shikoku-rokin.or.jp>

金融機関コード 2987

全 労 済

保障のことなら

全労済

全国労働者共済生活協同組合連合会

「全労済ぼうさいカフェ in 四国酒まつり 2017」開催報告

2017年2月18日(土)三好市池田町で開催されました「四国酒まつり」のイベントの一環として、防災イベントを開催しました。



全労済ブース付近の様子

- 1 開催日時 2017年2月18日(土)11時～15時
- 2 開催場所 西部ライフサポートセンター駐車場
- 3 来店者数 約350人
- 4 実施内容
 - ・防災グッズの配布(防災マスク・手ぬぐい、チラシ等)
 - ・非常食の試食(乾パン・ビスケット・ドロップ・えいようかん)
 - ・パネル展示(住宅災害・液状化・津波)
 - ・あったか〜いスープ(コーン・オニオン)の提供

徳島県共済生活協同組合 presents 親子ラジオ工作教室 開催報告

2017年3月5日(日)徳島県共済生活協同組合の組合員とお子様のペア(57組124名)の皆さまにお越しいただき、親子ラジオ工作教室を開催しました。



親子ラジオ工作教室の様子

- 1 開催日時 2017年3月5日(日)
 - 午前の部 10時～12時30分
 - 午後の部 14時～16時30分
- 2 開催場所 とくぎんトモニプラザ3階大会議室
- 3 参加者数 徳島県共済生活協同組合の組合員と
お子様のペア: 57組 124名
- 4 開催趣旨
労働者福祉事業の一環である「災害からいのちとくらしを守る運動」として位置づけ、イベントを通じて、親子で楽しみながら「ラジオと防災」について学び、防災に関する意識の高揚に繋げていくことを目的として開催しました。

2017年4月 ご来店キャンペーンのご案内

2017年4月3日(月)～4月28日(金)まで、
「気軽に・何でも・何度でも」相談できる『親切で頼れる店舗』
を目指し、組合員の満足度の向上に向け、
ご来店キャンペーンを開催いたします。
キャンペーン期間中に、窓口へご来店いただいた方、
さらに、ご来店の上新規ご加入^{*}いただいた方には、
素敵な粗品をプレゼントいたします。
皆さまのご来店をお待ちしています。

^{*}マイカー共済、住まいる共済、こくみん共済へ新規ご加入いただいた方が対象となります。

皆さまのご来店をお待ちしています。

ほなけん安心!
ええじょ!全労済

勤労者福祉ネットワーク

◆マリッサとくしま 初成婚カップル！

昨年7月、県から委託を受けスタートした「マリッサとくしま」。マリッサとくしまの事業のひとつ「マッチング」（1対1のお見合い事業）で、初の成婚カップルが誕生しました。

3月7日、結婚の報告をするために徳島県庁を訪れた夫妻に、飯泉嘉門知事より花束と藍染めの風呂敷、勤労者福祉ネットワークの久積育郎理事長からは「あわ～ず徳島」3年間の特別会員証（高速バスや温泉、ファミサポ利用などの各種割引、「くーぼん丸。」のサービスなどが3年間会費無料で利用できる会員証）を贈り、二人の新たな門出を祝福しました。

マリッサとくしまの「マッチング」は、会員登録制の1対1のお見合い事業、20歳以上の独身男女が対象で、情報端末からお相手を検索、写真や略歴、趣味などから候補を選び、お見合いにはマリッサとくしまのコーディネーターが同席します。カップル成立後もコーディネーターが二人の相談に乗るなどフォローを行い、この度の初成婚カップルも「直接聞けない相手のことをコーディネーターを通して知ることができたのが良かった」と嬉しい感想をいただきました。

さらに、この日は、2組目の成婚カップル（入籍）の報告も飛び込んでくるハプニングもあり、関係者にとって大変幸せな1日となりました。



3月7日 徳島県庁で飯泉嘉門知事に結婚の報告をするカップル



2月25日 ウォークラリー参加者とスタッフ



ゴールまであと一息！

◆「健康とふれあいの森」家族で頭の体操ウォークラリー

2月25日「健康とふれあいの森」で、「家族で頭の体操ウォークラリー」を開催しました。参加者がコース図をもとに、指示された速度で歩くペースを計算しながらゴールを目指す、身体も頭も動かすウォークラリー。4組10名が参加し、参加者からは「日頃、移動はほとんど自動車。歩くことが少なく、良い機会と思い参加した。運動不足が解消し、歩きながら会話も楽しめた。楽しい思い出になった。また、こういったイベントを開催してほしい」と、健康増進、家族の絆も深まるとても心あたまるイベントとなりました。



フードバンク・子ども食堂

育 成 支 援 基 金

貧困家庭が貧困の連鎖を起こさないように、社会が次の時代を担う子どもたちの育成のために様々な手法によって子どもの育成を行う必要があります。「子ども食堂」を運営する団体を支援するため、是非とも皆様のご協力をお願いします。



お申込み・お問い合わせ先

ハートフルゆめ基金とくしま

〒770-0942 徳島市昭和町3丁目35-1 わーくびあ徳島4階

公益財団法人 徳島県勤労者福祉ネットワーク内

Tel: 088-678-2130 Fax: 088-611-3323

E-mail: heart@yumekikin.net

<http://www.yumekikin.net>



基金 No.8003

募集期間：通年

募集目標額

年間 1,000,000 円

地域ライフサポートセンターの活動

徳島中央ライフサポートセンター

「キウイ収穫体験祭り」開催報告

※と き 2016年11月12日(土)11時～

※と ころ 佐那河内村果樹オーナー「キウイ園」

※協 賛 四国労働金庫徳島営業本部

※参加者数 144名(幼児、スタッフ含む)

※参 加 費 一人300円



【概 要】

県民と働く者のとくしまフェスタ2016の一環として、県民の皆さんが家族やグループで楽しめる「キウイ収穫体験祭り」を行いました。

9月12日(月)から10月14日(金)まで当センターのホームページや電話で体験者の募集を行い、募集人員100名のところ135グループ343名の応募がありました。10月20日(木)厳正な抽選を行い134名の当選者を決定しました。

11月12日(土)の当日は、3回目の開催にして初めて晴天に恵まれ、144名(幼児、スタッフ含む)と多くの方が参加されました。

オープニング式では、徳島中央ライフサポートセンター宮本会長から「3回目にしてようやく晴れた日の開催となりました。キウイ園の上のほうまで行って心置きなくかご一杯にキウイを採ってください。ただ、怪我をしないように。」とのあいさつの後、「キウイ収穫体験祭り」が始まりました。

参加者の皆さんは、大きなキウイが沢山生っているキウイの木の下へ。小さな子どもも保護者の方に抱えられ一生懸命キウイを摘み取っていました。籠が一杯になると神社の前で持ち帰りのビニール袋にキウイを詰めます。山盛りにしてキウイがゴロゴロ落ちる人も。

収穫体験の後は、スピードくじでの抽選会、空

くじなしではありますが、大人も子どもも1等賞が当たると「やったー。」と大満足。

また、オーナーの方から、完熟したキウイの提供がありおいしく試食したり、地元で取れた椎茸、ネギ、みかんなどの直売もあり、新鮮な農産物を安く購入し、参加者の方々はだいに満足された様子でした。



徳島西部ライフサポートセンター

～全労済ほうさいカフェ in四国酒まつり2017～

2月18日(土)「全労済ほうさいカフェ in四国酒まつり2017」が催されました。徳島西部ライフサポートセンターからも参加し、四国酒まつり会場のうだつマルシェで、非常食の試食や全労済のチラシを配布しました。

防災意識が高まっているためか、この日も多くの方たちが防災パネルの前で足をとめ、最近の非常食にも興味を示していました。5年間も長期保存できる羊羹や水、乾パンも食べてみると美味しいと話す方も多くいました。

当日の人出は主催者発表では約23,000人であり、四国酒まつりにおいて「ほうさいカフェ」を行うことは意義深いと感じました。



～地域貢献事業(スポーツ少年団支援)～

昨年度も地域貢献事業として、スポーツ少年団支援を行いました。

①第31回徳島県西部小学生バレーボール連盟春季大会(5/15) ②第11回東みよし町スポーツ少年団サッカー大会(10/8) ③第25回パナソニックヘルスケア杯少年サッカー大会(2/5) ④平成29年度三好少年軟式野球連盟春季大会(2/26)が開

催され、後援しました。

選手たちは保護者の声援を背に、力いっぱいのプレーを見せていました。

地域社会とのつながりを大切に、今後もスポーツ少年団支援事業に取り組んでいきたいと思います。



徳島南部ライフサポートセンター

第8回ろうきん青年女性部交流会が 開催されました

第8回四国労働金庫阿南支店推進委員会・青年女性部の交流会が2月24日(金)に開催されました(南部ライフサポートセンター協賛)。青年女性層の組合員に対して、労働組合について興味を持っていただく事と、阿南・那賀・海部地区の各労働組合の青年女性層の交流を目的として毎年行われているイベントです。

近年恒例となっていて、みんなで鍋をつくる第一部では、ドラフト形式による壮絶な具材の取り合いの結果、色とりどりの鍋が出来上がりました。(注：どの鍋もおいしかったです！)

第二部では賞品争奪“イラスト伝言ゲーム”がとり行われ、個性豊かな画伯のみなさんが大活躍！



どちらも大いに盛り上がり、終始笑顔の絶えない交流会となりました。

2016年度 自動車運転免許取得特別講座 閉講式

昨年の6月18日(土)から南部ライフサポートセンターの会議室で行われていた自動車運転免許取得特別講座が、1月21日(土)に最後の日を迎えました。

労福協の林専務から主催者を代表して、「長い期間にわたって一生懸命勉強してきた経験や成果を踏まえて、皆さんぜひ免許を取得してください。これからも生涯を通じて、色々な勉強やチャレンジをすることになりますが、くじけないで、自信を持ってがんばってください」と激励の言葉があり、宝先生からも「今まで頑張ったことを無駄にしないように、車の安全運転を全ての基本にして、一日も早く教習所に入って今まで学科で習ったことを生かしてほしいと思います」とアドバイスしていただきました。

続いて生徒の皆さんからも一人一人感想を言ってもらいました。

「はじめはなかなか覚えられませんでした、だんだんわかるようになりました。免許が取れるよう、頑張ります」「きのう仮免の試験に落ちましたが、今度は絶対受かるよう頑張ります。有難うございました」と、それぞれ宝先生の情熱あふれる授業に感謝しつつ、先生の気持ちに答える為にも必ず免許をとるぞ、という皆さんのあつい思いがあふれる感想ばかりでした。

閉講式のあと、最後の授業があり、午後8時15分、6月の梅雨の時期から始まり、夏の暑さや、冬の寒さをくぐり抜け、みんなで励まし合って頑張ってきたこの講座がついに終了しました。このあと教習所に入ってから、ゴール目指して追い込みをかける気持ちで集中してきちっと仕上げていってほしいと思います。



わーくぴあ徳島

普通救命講習

2017年2月22日、わーくぴあ徳島502号室にて、徳島消防署の救命救急班の方を招き、普通救命講習を行いました。入居団体からの参加者23名。テキストに基づき応急手当や救命処置の説明を受けた後、



人形を使って実際にAEDを使用し、胸骨圧迫、人工呼吸の実技講習を受けました。胸部

圧迫の位置や角度、押し方の速さや力具合、気道確保時のポイント等、細かな点まで一人一人に指導して下さいました。救助が必要な場面をイメージしやすく、臨場感のある指導をして頂き、3時間の講習修了後、受講者全員に普通救命講習修了証が手渡されました。



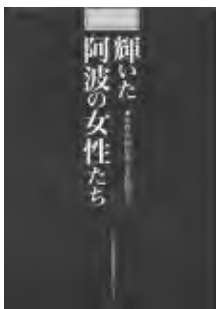
壮 生

「振り込め詐欺・特殊詐欺被害防止セミナー」in シニアカフェ 開催

シニアカフェ グランマでは去る2月4日(土)に徳島県警本部より山下哲重様、藤本勇氣様を講師に招き、振り込め詐欺・特殊詐欺被害防止セミナーを開催しました。講師からは昨年における年間の特殊詐欺被害額は減少しているものの、被害件数は増加していること、その中でも高齢者が被害に遭っている割合が高いことが強調されました。犯罪の手口が次第に巧妙になっており、「自分は絶対に騙されない」と思っている人でも被害に遭っているケースがみられるということでした。金銭に絡む電話が掛かってきた場合、①無視する②疑ってみる③相談するといった対応が必要とのことでした。うまい話には気をつけなければなりません。特に一人暮らしの高齢者は被害に遭いやすいので、日頃から被害防止の心構えが必要とのことでした。ATMで還付金は受け取れないこと、知らない人には決してお金を手渡さないこと、日銀や税務署等からお金が振り込まれるといった電話はないこと等の具体的な事例を挙げながら、わかりやすく話して頂きましたので、参加者は熱心に聞き入っていました。とても有意義なセミナーでした。



『輝いた阿波の女性たち』2016年11月発行



発行者
とくしま社会運動資料センター
頒布価格
1,000円(税込)

《お問い合わせ》
徳島県労働福祉会館 法人事務局
Tel.088-602-0532
HP <http://workpia-tokushima.jp>

目 次

- 第1章 女性が輝く豊かな未来へ
元参議院議員・AWA女性問題研究所 代表 乾晴美
- 第2章 輝いた阿波の女性たち
鳥居きみ子／坂口あさ／坂尾茂子／吉田テフ子／紅露みつ
- 第3章 輝く阿波の女性たち
原孝枝／磯田正江／竹内菊世／河野南代子／野尻許子／
齒染山加代／高開千代子／東條恭子／高井美穂／乾晴美
- 第4章 女性の地位向上に活躍した人たち
「徳島県女性協議会20年史」より／徳島県女性議員
附録資料／参考文献

安心金利のローンや便利で手数料いらずのATM。
知れば知るほど、ろうきんって使える。
ほかにもいいことありそう。
休日も相談にのってくれるところがあるとか。
こんど行ってみよう。

けっく使える。
ろうきん

あなたと
わかちあう
次の一歩

ろうきん

ろうきんイメージモデル 高梨 陽

ZENROSAI NEWS



住まいの備えは全労済の
住まいる共済で安心。

全労済の
住まいる共済

(新)火災共済・(新)自然災害共済
風水害等給付金付火災共済・自然災害共済・個人賠償責任共済

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいで組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

保障のことなら

全労済

全国労働者共済生活協同組合連合会

発行 公益社団法人

徳島県労働者福祉協議会

徳島市昭和町3丁目35-1 (わーくびあ徳島 内)

TEL (088) 625-8387・FAX (088) 625-5113

URL <http://www.tokushima-rofuku.net/>

e-mail tokushima@rofuku.net

編集・発行人 川 越 敏 良

印刷者 (有)フォトプリント白石